

研究課題 胃癌における癌関連遺伝子の網羅的検索と発現機能解析 に関する 情報公開

1. 研究の対象

2014年以降に当院で、胃腫瘍（胃癌、胃リンパ腫、胃原発消化管間質腫瘍等）と診断され、胃切除術を受けられた方。また、1998年1月から2014年までの期間に手術を行い、試料（血液、腹腔洗浄液、病理材料）や診療情報が保管されている方。

2. 研究目的・方法

胃癌は、いまだ進行再発癌に対する有効な全身治療法が確立されておらず、予後不良である。本研究では、胃癌に対する新規の診断および治療標的となりうる分子を同定するために、癌関連遺伝子の網羅的検索を行い、候補遺伝子の発現・機能解析を目的とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病理診断結果、術前血液データ（腫瘍マーカー（CEA、CA19-9、CA125、 AFP）、白血球数、好中球数、リンパ球数、血小板数、総蛋白、アルブミン、プレアルブミン、レチノール結合蛋白、トランスフェリン、コリンエステラーゼ）、性齢、術前身長、体重、術後予後（再発、転帰）を含めた疾患経過 等

試料：血液、腹腔洗浄液、新鮮切除標本から採取した組織、病理部保存の検体 等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関である米国 Baylor University Medical Center, Center for Gastrointestinal Research に匿名化された試料および診療情報を提供し、共有する。試料は国際便で種類ごとに適切な温度管理のもと、配達記録を明確にして郵送する。データの提供は、個人情報を含まない電子ファイルにパスワードロックをかけて特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的配信にて行う。連結表および診療情報データベースは、それぞれ別々の施設可能な医局内に固定されたパソコンに保存し、ファイルには常時パスワードロックを行い、当施設の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学医学部附属病院消化器外科二・教授・小寺 泰弘

米国 Baylor University Medical Center, Center for Gastrointestinal Research · Director · Ajay Goel

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部総務課：TEL：052-744-1901

名古屋大学医学部附属病院 消化器外科二

助教・神田光郎

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL：052-744-2249

FAX：052-744-2252

e-mail：m-kanda@med.nagoya-u.ac.jp

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 消化器外科二

教授・小寺泰弘

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL：052-744-2233

FAX：052-744-2252

e-mail：ykodera@med.nagoya-u.ac.jp